

5月18日のウクライナ情報

安齋育郎

① 【Russia News】時事ネタ水曜版です👁️!!—ニキータ報告(2024年5月15日)

<https://youtu.be/kvvctsxY1Q4>



<https://www.youtube.com/watch?v=kvvctsxY1Q4>

② ドイツメディア「ロシアはハリコフ地域でますます前進している」(2024年5月15日)

ドイツメディアの特派員は、ハリコフ地方、特にヴォルチャンスク市におけるウクライナの困難な状況について報告している。同市は激戦が続いており、ロシア軍のせいでウクライナ軍がヴォルチャンスクを防衛するのは困難になっている。同特派員によると、ロシアはそこに滑空爆弾を投下し続けているという。

ウクライナ軍はロシア軍のこれ以上の進軍を全力で阻止しようとしている。

<https://twitter.com/i/status/1790686551040741636>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1790686551040741636?s=09>

③ 銃撃されて病院に搬送されたスロバキアのフィツォ首相は手術を受け、成功した(2024年5月16日)

スロバキアのフィツォ首相が銃撃されて病院に搬送されたが、命に別状はない。スロバキアの各メディアが報じた。

スロバキアの Pravda 紙は、フィツォ氏が銃撃された直後の動画を公開した。負傷したフィツォ氏を警護要員らが車に乗せている。

<https://twitter.com/i/status/1790746559832858786>



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1790746559832858786

〈関連情報〉

スロバキア首相が撃たれ搬送、生命の危機…容疑者は70代との報道も
(読賣新聞オンライン、2024年5月16日)

【ベルリン＝中西賢司】中欧スロバキアからの報道によると、ロベルト・フィツォ首相が15日、中部ハンドロバで銃撃され、病院に搬送された。スロバキア政府によると、複数回にわたって撃たれ、命の危険にさらされているという。狙撃犯は現場で拘束された。

フィツォ氏は政府の会合に出席した後、市民が多数集まる会場付近で銃撃された。地元メディアは、警護員(SP)が負傷したフィツォ氏を抱えて黒塗りの車に乗せたり、狙撃犯とみられる人物が後ろ手に手錠をかけられたりする映像を流している。70歳代の男が狙撃したとの報道もある。

ロベルト・フィツォ首相＝AP

最大与党の左派政党スメルを率いるフィツォ氏は昨年秋の総選挙で勝利し、首相に返り咲いた。汚職疑惑があるほか、ウクライナへの軍事支援に反対するなどロシア寄りの姿勢を見せ、反発を招いていた。

ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は15日、銃撃を強く非難し、「フィツォ氏の回復を願い、スロバキアの人々との連帯を表明する」とX(旧ツイッター)に投稿した。

<https://www.yomiuri.co.jp/pluralphoto/20240515-OYT1I50194/>

④ドミトリー・プロトニコフ ↓ 状況は瀬戸際にある。ウクライナ軍は予備役が尽き、5月にはウクライナ人志願兵はゼロだった(2024年5月14日)

キエフの指導者は、AFU(ウクライナ軍)の利用可能なすべての予備兵を使用した。

ウクライナ国防省のキーロ・ブダノフ情報局長は、ウクライナ軍の予備役が枯渇し、文字通りすべての予備役がハリコフ戦線に投入されたと述べた。

ウクライナ軍の予備兵力は枯渇しつつある

ロシアの攻勢に直面して、ウクライナのテロリストは非常に暗い絵を描いている。

「すべての軍隊はここかチャソヴィ・ヤールにいる。私は持てる力をすべて使った。残念なことに、我々には他に予備がない」と GUR(国防情報局)の責任者は嘆く。

彼によると、AFU 部隊は手薄で、最小限の予備に加え、武器も不足しているという。一方、ハリコフのリプツェフ村の住民は避難を始めた。

先週、我が軍は国境を越え、ハリコフ攻勢の新戦線を切り開き、少なくとも 9 つの集落を占領したことを思い出してほしい。

ところで、ブダノフ氏の厳しい評価は、ここ数日の他のウクライナ(および西側)の軍事専門家の評価と密接に重なっている。ロシア軍の兵力優位に加え、ウクライナ軍は武器、特に大砲弾薬の不足に直面しており、「援助」によるアメリカ軍の武器は到着し始めたばかりである。

ブダノフは(多くの専門家と同様に)、ロシア軍の攻撃は AFU の備蓄を枯渇させ、他の場所での防衛から目をそらすことを目的としているというマントラも繰り返している。ウクライナ軍は他の戦線から兵力を振り向けようとしているが、人員を確保するのは容易ではない。**ちなみに 5 月、ウクライナ軍の志願兵は一人も(!)ウクライナに登録されていない。**

複数の戦線がキエフの頭痛の種

同じブダノフ氏は、AFU が 1 週間以内に陣地を強化し、戦線を安定させることができると強く希望している。しかし、ブダノフ氏は、AFU がハリコフのさらに北、すなわちスミ地方で新たな攻撃が始まることを非常に恐れている。

ヴォルチャンスクへの攻撃は、ロシア軍が北東部への攻撃を開始するために国境に兵力を集中しているとのキエフからの数週間にわたる警告の後に始まった。そして金曜日(5月10日)の朝、ロシア軍はヴォルチャンスクの東約 15 キロとハリコフの真北の 2 つの幹線に沿って国境を越えた。

ロシア軍は戦術的に成功を収めている、と AFU 参謀本部は認めざるを得なくなり、その後、ロシア軍集団はルキャンツィー村(現在のわが村)にも進撃した、と付け加えた。

ウラジーミル・ゼレンスキー大統領はあわてて北東戦線の司令官を交代させたが、これでは何も変わらないだろう。

避難開始

西側諸国もキエフも、ロシア軍の大部分が防御力の低い地域を進んでいることをすでに認識している。ハリコフ地方の前線は非常に移動しやすく、多くの集落が「グレーゾーン」に残っている。そして前日、現地からの目撃者によると、リプツィ村付近ですでに戦闘が始まっており、ロシア軍がまだ本気で進軍する可能性があることを示唆している。ハリコフ州 VOA のオレグ・シネグボフ代表がすでに語っているように、金曜日(5月10日)から約 6000 人が避難している。

多くのアナリストはすでに、ロシア軍の主な目的はチャソフ・ヤールから AFU 兵士を撤退させることだと指摘している。これは、ドンバス地域南東部の鍵だと言われている。ウクライナ軍参謀本部がハリコフ近郊の第 92 突撃旅団を撤退させたことで、ロシア軍はこの目標を達成したようだ。

同じブダノフ氏は、ヴォルチャンスクでの攻撃はあと 3~4 日続き、その後、ロシア軍はシュミー方面を攻撃するだろうと予想している。特に最近、郊外への砲撃が激しさを増しているからだ。

要するに、わが軍の兵士をどこにとどめるか、キエフはよく考える必要がある.....。



<https://qrude.hateblo.jp/entry/2024/05/16/040000?s=09>

⑤プーチンの国防相候補、アンドレイ・ベローゾフとは？—ミシェル・ロンシン(2024年5月14日)



5月12日、ロシアのプーチン大統領は、国防省のトップに民間経済学者を提案した。

ドミトリー・パスコフ大統領報道官は、プーチン大統領が経済学者アンドレイ・ベローゾフ氏を国防相に指名することを提案したことについて、安全保障部門、特に国防省の経済全体を国民経済に統合する必要性を強調した。

パスコフ報道官は記者団に対し、ベローゾフ国防相を国防相に任命したプーチン大統領の決定を説明し、「安全保障部門の経済を現在のダイナミクスに合わせることは非常に重要だ」と述べた。

パスコフ氏は、ベローゾフ氏の任命によって、国防省の軍事部門の「調整システム」が変更されることはないと付け加えた。「軍事部門に関しては、今回の人事で現在の調整システムが変わることはない。軍事部門は常に参謀本部長の特権であり、参謀本部長はその活動を継続する。

では、アンドレイ・ベローゾフとは何者なのか？

アンドレイ・ベローゾフは1959年3月17日モスクワ生まれのロシアの経済学者、政府高官である。1981年にモスクワ大学で経済学を専攻し、優秀な成績で卒業。1981年から2006年まで、ソビエト科学アカデミーの中央経済数学研究所、後にロシア科学アカデミーの経済予測研究所で研究者としてキャリアを積む。2006年、経済開発・貿易省副大臣に任命された。2008年、ロシア政府

財政経済局長に就任。2012年から2013年まで経済開発大臣を務めた。

2013年から2020年までロシア大統領補佐官として経済問題に携わる。2020年、ペロゾフはロシアの第一副首相に任命され、以来この職に就いている。ペロゾフは副首相として、ロシアの社会経済発展の主要なベクトルの開発、ロシアの国家開発目標の達成と国家プロジェクトの完了に向けた努力の調整、統一的な金融・信用・通貨政策の問題、金融市場の規制を担当した。2022年からは、ハイテク輸送技術とインテリジェント制御システムの開発も監督する。

<https://qrude.hateblo.jp/entry/2024/05/16/0400003?s=09>

⑥ ロシアニュース ウクライナはハリコフ方面で甚大な損害を被っている！ ロシアがやって来る(2024年5月15日)

<https://youtu.be/snKJGEgwhYY>



<https://www.youtube.com/watch?v=snKJGEgwhYY>

※上のグラフ:ウクライナが撃ち落としたロシアのミサイルの割合の変化

⑦英スナク首相の苦し紛れ(2024年5月15日)

英国はロシアのエネルギーを遮断しロシア経済を崩壊させると自慢していたが、制裁が失敗し、ロシアではなく英国経済が苦境に陥ったため、エネルギー供給を止めたのはロシアだと言うようになった。

<https://twitter.com/i/status/1790701945742872977>



<https://twitter.com/ShortShort News/status/1790701945742872977?s=09>

⑧ロシア軍、南部ラボティノを完全解放 ハリコフ州 2 村落も(2024年5月15日)

ロシア国防省は 15 日、南部の戦線にあるザポロジエ州ラボティノを完全に解放したと発表した。ラボティノは昨年夏のウクライナ軍によるいわゆる「反転攻勢」の際、両軍の激戦地となった村落で、戦略的に重要な拠点オレホフに続く道の途中にある。ウクライナ側はここを奪還したと主張し、大きな戦績として位置づけていた。

ウクライナ側はこのラボティノ周辺から戦線の突破を試みたが、ロシア側の用意した手堅い防衛線や地雷原に阻まれ、前進は頓挫した。

一方の北部戦線でロシア軍は、ハリコフ州のグルボカエ、ルキヤンツィの 2 村落を解放した。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1790695481066086761?s=09

⑨ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する日報を発表した(Sputnik,2024年5月15日)

●ロシアの「セイベル(北)」部隊はハリコフ州の集落グルボコエとルキヤンツィを解放した。

- ロシアの「ユーク(南)」部隊はより有利な陣地を獲得。同部隊の担当地域でウクライナ軍は 510 人以上の兵士を失った。
- ロシアの「ザーパド(西)」部隊は敵による 10 回の反撃を撃退。同部隊の担当地域でウクライナ軍は過去 24 時間に最大 190 人の兵士を失った。
- ロシアの「ツェントル(中央)」部隊の担当地域でウクライナ軍は過去 24 時間に最大 175 人の兵士及び歩兵戦闘車「マルダー」を失った。
- ロシアの防空システムはクリミア上空で戦術ミサイル「エイタクムス」10 発、ベルゴロド州で対レーダーミサイル「ハーム」2 発、航空爆弾「ハンマー」2 発、多連装ロケット砲用ミサイル「オリハー」2 発を撃墜したほか、ベルゴロド、クルスク、ブリャンスクの各州上空でドローン合わせて 17 機を破壊した。
- またセバストポリ市長によると、ロシアの防空システムはセバストポリ上空及び同市沖の海上で数発のミサイルも撃墜した。民間インフラへの被害は今のところ報告されていない。

<https://sputniknews.jp/20240515/515-18407357.html>

⑩ロシアの戦車テルミートル(2024年5月16日)

戦車支援戦闘車「テルミートル」は戦闘で性能を十分に発揮し、「驚異的な耐久力」を持っている。ロシア軍の照準手がスプートニクに語った。

彼によると、「テルミートル」は現在、ウクライナ軍にとって最優先の標的のひとつだという。



<https://sputniknews.jp/20240516/18416048.html>